

愛知県半田市観光ガイド 公式パンフレット

いいかも 半田



nankichi no sato

*Handa
akarenga*



dashi no machi



*ii kamo!
Handa*

発酵と醸造の
歴史文化をめぐる旅

*ii kamo!
Handa*



*Handa
unga*



kamezaki

いいかも半田 愛知県半田市観光ガイド 公式パンフレット
令和7年3月発行 発行／半田市 企画・編集／半田市観光協会
※内容は全て令和7年1月時点のものです。掲載情報は変更になる場合があります。
半田市観光協会 handa-kankou.com
愛知県半田市東洋町1-8 アイプラザ半田 TEL 0569-32-3264(9:00～17:00)

国登録有形文化財・近代化産業遺産
半田赤レンガ建物 (旧カプトビール工場)

はんだあかれんがたてもの（きゅうかぶとびーるこうじょう）
明治時代に本格ドイツビールの製造工場として建てられた半田赤レンガ建物。歴史的価値の高い美しい建築物は半田を象徴する観光スポットのひとつ。「カプトビール」の歴史を模型・映像・写真で紹介する常設展示のほか、復刻ビールなどの飲食ができるカフェや半田土産の揃うショップを楽しめる。ハーフティンバー様式の壁面やレンガ造りのレトロな空間は、どこを切り取っても絵になりフォトスポットとしても人気。



ショップでは、カプトビールや半田赤レンガ建物グッズ、選りすぐりの半田土産が購入できる。



復刻ビールを味わえるカフェ。カプトビールにちなんだイベントや期間限定の企画展なども開催。

かつて名古屋駅前に建っていた、カプトビール広告塔を実寸大で再現。

レトロな広告塔が目印！
いいかもポイント
ii kamo! Handa



「いいかも! 半田」を合言葉に、新しい魅力が次々と生まれるまち、半田市。醸造蔵の木桶がモチーフのロゴは、まちの歴史と文化から醸しだされる半田の魅力を表現しています。

漆黒の蔵が建ち並ぶ運河に、吹きわたる心地よい風。
半田運河に流れるのは、江戸時代からつづく発酵と醸造のものがたり。
さまざまな醸造品をここから江戸へと送りだしてきました。
なかでも江戸の握りずしブームをつくった「粕酢」は、このまちで生まれた、知恵と工夫のしずく。
当時のゆたかさが生み出した、祭礼の豪華な山車もこのまちの自慢です。
そんな半田市はいま、「発酵と醸造のまち」として食や文化の魅力を発信しています。
新たな風が行き交う半田を、味わい、めぐってみませんか。

発酵と醸造の歴史が醸す、 新たな文化とにぎわいのまち

半田の歴史ロマン！
復刻カプトビールを味わう

いいかもポイント
ii kamo! Handa



住吉神社前にある宮池（みやいけ）。脇には童話作家・新美南吉がかつて通っていた旧道がある。作品「うた時計」「和太郎さんと牛」に登場し、ほとりには「ひよめのうた」碑が建つ。

奥へと連なる赤い鳥居が印象的な映えスポットも。

半田赤レンガ建物から半田を象徴する発酵と醸造の歴史探索へ。
美しい建築遺産と復刻したカプトビールの歩みを辿って。

まずはここから。半田観光の玄関口！ 半田赤レンガエリア

ii kamo! Handa
Handa akarenga

ページ掲載情報をさらに詳しくご紹介！
WEBサイト「半田市観光ガイド」
▶半田赤レンガエリア



当時の味わいを楽しめる 復刻したカプトビール

昭和18年に生産終了し、幻となっていたカプトビール。文献を基にレシピの再現が進められ、平成17年、ついにカプトビールが復刻！現在は当時の味わいを楽しめるようになりました。歴史ロマンに思いを馳せながら半田醸造のビールを味わってみませんか。

半田土産の定番！
田中屋の生せんべい



総本家田中屋

そうほんけたなかや

モチモチ食感とほのかな甘みが特長の銘菓「生せんべい」。かつて徳川家康が当地に立ち寄った際に食べたという伝承もあり、半田では学校給食にも登場するソウルフード。黒糖・白・抹茶・ゆずの4種類の味わい。

住吉神社

すみよしじんじや

山車とちんどう舟を合わせた「ちんどう祭」（P12）が行なわれる上半田地区の氏神様。授与所にはユーモラスな表情の絵馬や御神札絵（おふだえ）、お守りが並ぶ。



絵馬（左）と、「ちんどう舟」のデザインがかわい交通安全お守り（右）。

いいかもポイント
ii kamo! Handa

「いいかもポイント」は半田観光のおすすめポイントをピックアップしています。



半田市の見どころ

4つの観光エリアと
歴史ある祭り文化

Handa City

懐かしくて新しい 亀崎エリア P08

童話の世界へ 南吉の里エリア P10

レトロでモダンな 半田赤レンガエリア P03

醸造と蔵のまち 半田運河エリア P04

伝統を受け継ぐ 山車のまち半田 P07



市内全10地区で合計31輛の山車を所有し、祭り文化を守り継ぐ半田市。その多さと豪華さは全国的にも希少。



対岸から眺めた切妻屋根が3つ連なる特徴的な蔵。利き酒コーナーも楽しい！



国盛 酒の文化館

くにざかり さけのふんかかん
「中埜酒造(なかのしゅぞう)」のお酒の博物館。実際に約200年にわたり酒造りを行ってきた酒蔵で、館内は当時の面影を感じることができる。酒造りの解説や展示などで半田の醸造の歴史を学べる。

代表銘柄「国盛」ほか、中埜酒造製品が買える蔵元直売所も。



広々とした景観を楽しみながら運河沿いの遊歩道を散策！

端午の節句の時期には、50匹以上の鯉のぼりが春の空を彩る。



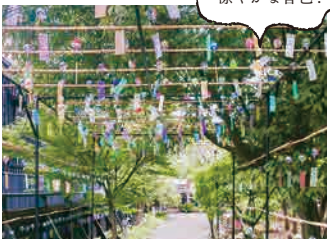
夏開催の「キャナルナイト」は、運河の水面に参加者がヒカリノ玉を浮かべる幻想的な光のアートイベント。



運河の風にたなびく！



約千個の風鈴の涼やかな音色！



半六庭園は自由に散策ができ、夏には「半六庭園の風鈴飾り」、秋には「半六庭園のランプ飾り」など、季節ごとに楽しめる。敷地の南西には舟の板を使った「舟板堀」が残る。



国登録有形文化財 旧中埜半六邸

きゅうなかのはんろく

半六庭園

はんろくていえん

尾州半田の繁栄を牽引した豪商・中埜半六家の旧邸宅。回遊式の日本庭園、母屋、炊事場(七連かまど)、3つの蔵が現存している。庭園は一般開放され、母屋2階は貸室として、イベントや撮影などに利用。



HANROK

はんろく

有形文化財の邸宅内でコース料理が楽しめる本格フレンチ。愛知県・知多半島産の厳選食材に発酵・醸造を利かせ、食と文化の繋がりを感じられる革新的なメニューが堪能できる。



ばあむくうへん研究所

ばあむくうへんけんきゅうじょ

バームクーヘン専門の工房兼販売所。季節ごとに限定商品が登場し、発酵調味料を使った個性的なフレーバーも人気。



国指定重要文化財 旧中埜家住宅

きゅうなかのけいじゅうたく

第10代中埜半六が明治44年に建てた洋風別荘。欧州留学中に見た住宅の美しさに心惹かれ、それらを模して建築したと言われている。ハーフトンパースタイルの外観が特徴。設計は鈴木禎次。

青空を穏やかな水面に映す半田運河。時を経た歴史ある景観はカメラに収まりきれない美しさ。潮の満ち引きにより生まれる様々な表情も魅力のひとつ。

半田運河

はんたうんが

醸造業と海運業で栄えた半田発展の中心となった港。建ち並ぶ蔵から小舟で荷を運び出して弁才船へと積み込み江戸まで運んだ。現在は、かつての面影を残した広々とした景観の運河散策や、発酵と醸造の歴史文化を楽しめる観光スポットに。市民に愛される憩いの場でもあり、活用事例として評価され平成29年「都市景観大賞」を受賞。

半田運河

HANDA CANAL



handa unga

ページ掲載情報をさらに詳しく紹介！
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶半田運河エリア



江戸へ粕酎を運んでいた「弁才船(べさいせん)」に乗り船し、大きさを体感できる。



リトリートキッチン

りとりーとキッチン

ミヅカンミュージアムの正面玄関前にちょこんと建つスムージー&フーズスタンド。粕酎を使ったビネガー・ジュースは半田ならではの味わい。テイクアウトできるカラダに優しいメニューが並ぶ。

ミヅカンミュージアム限定販売の粕酎「千夜」(P14)と濃厚マンゴーがベストマッチ。



粕酎発祥の半田から江戸へ、全国へ、世界へ！

MIZKAN MUSEUM (MIM)

みつかんみゅーじあむ(みむ)

ミヅカングループの本社に隣接する、お酢の体験型博物館。ミヅカングループの軌跡を辿りながら、醸造技術の歴史や食文化の魅力を、見てさわって楽しく学べる。ミュージアム限定品もお土産におすすめ。(P14・16)

「味ぽんスタジオ」でつくるオリジナルマイ味ぽん。季節の柄もあり旅の記念にピッタリ。



楽しい体験展示で大人も子どもも楽しめる。MIM名物の「す」ポットでの記念撮影もお忘れなく！



★江戸も半田フライン★O.N.江戸時代、半田から江戸に運ばれていた酢の原材料は？ A 米 B 果実 C 穀物 D 麦 E 酒粕 />これはP17へ

06



盛田金しゃち酒造

もりたきんしゃちしゅぞう
潮干祭とともに歴史を歩んだ「天竺酒造」を事業承継し、2010年に設立した酒蔵。代表銘柄「金鯱(きんしゃち)」 「初夢桜(はつゆめぐら)」のほか、南知多産フルーツの日本酒クラフトリキュールも人気。併設の直売所で購入できる。

絵柄がかわいい
ワンカップ「金鯱」。
3つ入りのお土産
用セットも。



そば切り 無双

リノベーションした古民家で、打ち立ての外二八そばを提供する。夏場に出される竹製の手作り蕎麦猪口や蕎麦受けも「無双:ひとつとして同じものはない」という名を冠する店主のこだわり。

発酵技術が生きる酒元饅頭
亀崎銘菓の「かめまん」

紀伊國屋本店

きいくにやほんてん

江戸時代創業の老舗和菓子舗。添加物を一切使わず昔ながらの酒酵母発酵製法で手回しにかけて作る亀崎饅頭は、通称「かめまん」として地域で永く愛されている銘菓。

時間が経ち固くなったら、蒸す・焼く・揚げるなどアレンジして食べるのが地元流。



JR亀崎駅 駅舎

じゅいあーるかめざきえき えきしや

明治19年に開通したJR武豊線の亀崎駅は日本最古といわれる現役木造駅舎。温かみのある木造平屋建てで、当時の面影を残す素朴な魅力が多く、の鉄道ファンに愛されている。



古民家 ころ・れ

こみんか ころ・れ

古民家をリノベーションした和モダンな店内で、知多牛ステーキをはじめ、厳選した地元食材を使った料理を楽しめる。建屋は望洲楼の成田家の本宅で半田市指定景観重要建造物。



望洲楼

ぼうしゅうろう

幕末の安政2年に創業し、福沢諭吉など名だたる文化人も訪れた歴史と格式のある料亭。高台の斜面に建てられた客室からは衣浦の海を一望でき、季節ごとの会席料理を堪能できる。建物群は築150年を超える半田市指定景観重要建造物。



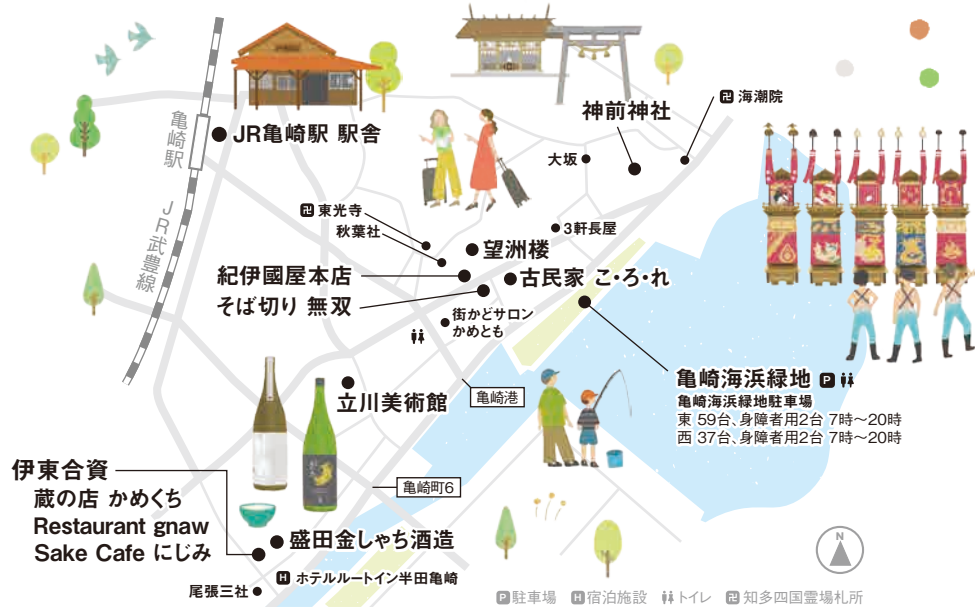
山車を納める「サヤ」は見上げる大きさ! 亀崎地区に5つある。



古民家を改装した街の案内所「街かどサロン かめとも」。

「せこみち」を通り抜け 懐かしくて新しいまち並み散策!

亀崎といえば多くの坂と「せこみち」と呼ばれる細く狭い路地が特徴。ほかにも、鬼門地蔵、山車サヤ、酒蔵など、ノスタルジックなまち並みが残ります。迷路のような「せこみち」を通り抜け、かつての港町を散策してみてください。



平成5年、防波堤や国道建設により途絶えていた山車の「海浜曳き下ろし」復活を望む声が高まり、人工砂浜を造成した亀崎海浜緑地が完成。



立川美術館

たてかわびじゅつかん

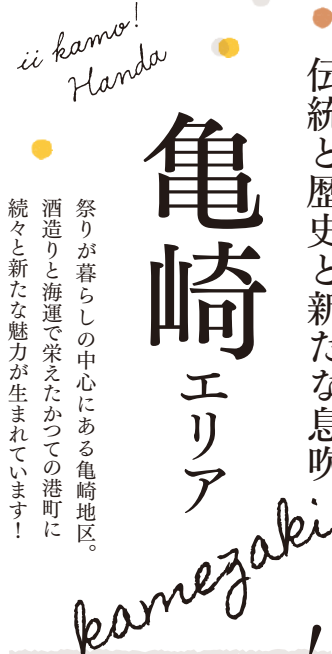
伝統的な山車彫刻の流派である「立川流彫刻」を紹介する美術館。世界で唯一の山車乗車&VR祭り体験では、潮干祭で山車が見物人をかき分け狭い路地を進む様子を臨場感たっぷりに味わえる。分館の「間瀬家住宅」邸内ではカフェも楽しめる。



神前神社

かみさきじんじや

300年以上続く亀崎潮干祭が執り行われる神社。境内からは衣浦(きぬうら)の眺望を楽しめる。子どもの神様としても名高く、神秘的な井戸のぞき祈願はじめお宮参りや七五三詣にも人気。



ページ掲載情報をさらに詳しくご紹介!
WEBサイト「半田市観光ガイド」
▶亀崎エリア



国指定重要無形民俗文化財 ユネスコ無形文化遺産

亀崎 潮干祭

かめざき しおひまつり

毎年5月3・4日に行われる亀崎 潮干祭は、5輦の山車の山車を潮干の海浜に曳き下ろすとても珍しい祭り。豪華絢爛な山車が不安定な波打ち際を進むさまは圧巻で、毎年多くの観光客でにぎわう。亀崎地区の酒造りや海運で栄えた華々しい歴史を背景に300年以上前から続いている祭礼であり、江戸時代の風習が厳格に受け継がれている。

300年以上続く
伝統の祭礼



伊東合資の敷地内にある、個性的な3つの店をご紹介します!



蔵の店 かめくち

くらのみせ かめくち

明治・大正時代の空気感そのままに「数嶋」が並ぶ直売店。重厚な趣のカウンターで「角打ち(有料試飲)」を楽しめる。おつまみも絶品。



Restaurant gnaw

れすとらん のー

土蔵を改装した「かじる」という意味の名を持つレストラン。知多半島の旬を体感できる料理とペアリングドリンクのマリアージュを堪能できる。



Sake Cafe にじみ

さけ かふゑ にじみ

ペアリングドリンクのランチが人気のカフェ。各種「数嶋」の飲み比べのほか、銘茶やノンアルコールも選べる。ティータイムの「数嶋」を使ったデザートも風味豊か◎。



1品ごとに
ペアリング!

南吉ゆかりの地を巡る おすすめのモデルルート

南吉の里エリアには、でめし広場や岩滑八幡社など南吉ゆかりの地がたくさんあります。南吉が愛したふるさとを巡るモデルルートの詳細はWEBサイトへ！



南吉の養家(新美家)

なんきちのようか(にいみけ)

南吉の生母りゑの実家。当時8歳で祖母志もの養子となるが、寂しさから数ヶ月で渡辺家に戻った。童話『小さい太郎の悲しみ』などに登場。／公益財団法人かみや美術館 分館(見学要予約)



南吉の生家(渡辺家)

なんきちのせい(わたなべ)

南吉が生まれ育った家。多くの人が往来した旧街道沿いで、父は畳屋、継母は下駄屋を営んだ。家屋内で、解説アナウンスを聞きながら当時の雰囲気を楽しむ。名鉄半田口駅より徒歩5分。



まるで童話の世界への入り口のような記念館の建物はゆるやかな里山の丘陵をイメージした設計。

童話『手袋を買いに』の帽子屋を再現した館内の図書室。さつねもあちこちに。



新美南吉記念館

にいみなんきちねんかん

童話『ごんぎつね』に登場する「中山」の地に建つ、新美南吉を顕彰する記念文学館。建物を芝生で覆い自然や風景との調和を目指した半地下構造が特徴的。館内では、自筆原稿、日記、手紙などの資料とともに、南吉の生い立ちや作品のジオラマを展示する。隣接する童話の森には『権狐』草稿碑もあり、南吉文学に浸りながら森の遊歩道散策を楽しめます。

日本児童文学を代表する作品！



半田市岩滑出身！



新美南吉記念館にある「ごんぎつね」のワンシーンを再現した六地藏。

南吉の養家(新美家)

天然温泉 まるは ごんぎつねの湯



パティスリー ラ・ミモザ

ばていすりーら・みもざ

小高い丘の上に建つ地域で評判の洋菓子店。店名のミモザが春に黄色い花を咲かせると、まるでファンタジーの世界。ショーケースにはパティシエこだわりの色とりどりの洋菓子が並ぶ。



天然温泉で
湯ったり♪



名物の巨大な
エビフライ！



300万本の彼岸花



地域ボランティアが育む 南吉の里の彼岸花群生

『ごんぎつね』の一節「ひがん花が赤い布(きれ)のようにさきつづいていました」を再現しようと始まった地元住民による彼岸花植栽活動。30年近く、今では全国有数の彼岸花群生地。にきれいに咲かせるため、地域ボランティアが一年を通して維持管理を続けています。

ごんの秋まつり

GON NO AKIMATSURI

「ごんの秋まつり」では、花嫁行列やライトアップなど彼岸花を楽しむイベントを多数開催。9月下旬～10月上旬。



天然温泉 まるは ごんぎつねの湯

てんねんおんせん まるは ごんぎつねのゆ

天然温泉が楽しめる日帰り入浴施設。地下1500mから湧く59.2℃という高温源泉を生かした滝つぼ湯や露天風呂が人気。まるは食堂名物の巨大エビフライも食べられる。



岩滑の氏神、岩滑八幡社。童話『狐』『久助君の話』などに登場する。



ぎつねのオブジェがあるベンチ。いっしょに権現山を眺めてみて。



cafe & shop ごんの贈り物

かふえ あんどしよっぷ ごんのおくりもの

記念館内にある南吉作品の書籍や絵本が並ぶブックカフェ。「ごんの贈り物ブレンド」などのカフェメニューをゆったり味わえる。ショップでは南吉童話グッズや半田土産のほか缶バッジのワークショップも人気。



カバンに忍ばせたいミニブックや南吉作品がモチーフの作家作品が揃う。

ごんぎくん

新美南吉童話イメージキャラクター。帽子と手袋がトレードマークの南吉の弟子。



ページ掲載情報をさらに詳しくご紹介！

WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶南吉の里エリア



新美南吉の
ふるさと
半田

ii kamo!
Handa

nankichi
no sato

「ごんぎつね」の
ワンシーンを再現！

300万本の彼岸花

300まんぼんのひがんばな

岩滑地区の「矢勝川堤(やちがわつつみ)」では、秋になると全長1.5kmにわたり約300万本の彼岸花が咲き誇る。開花時期には「ごんの秋まつり」を開催。真っ赤な絨毯を敷いたような幻想的な風景に毎年約10万人が訪れる秋の風物詩。

ページ掲載情報を
さらに詳しくご紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶シーズンカレンダー



半田空の科学館

はんだそらのかかくかん

宇宙の神秘を子どもと一緒に遊びながら学べる体験型科学館。プラネタリウムでは、シーズンごとに変わるプログラムで満天の星空を投影。土日祝には昼の星見会も開催。



楽しく学べる
プラネタリウム

しゅわしゅわの
生どぶろく



12月
上旬

どぶろくまつり

微発泡の生どぶろくが味わえるのは酒蔵ならではの。國盛 酒の文化館 (P05) にて開催。

いちご狩り
シーズンスタート!



12月上旬
どぶろくまつり



11月上旬～12月中旬
半六庭園のランプ飾り (P05)

あたたかな
灯りの演出



9月下旬～10月上旬 (P11)
ごんの秋まつり
GON NO AKIMATSURI

5年ごとに開催

はんだ
山車まつり
(P07)

次回開催予定
2027年 10月

8
AUGUST



涼やかな
夏の音色

7月上旬～8月中旬
半六庭園の風鈴飾り (P05)

2DAYS!
8月上旬
半田運河
キャナルナイト
Canal Night (P05)



6
JUNE



半田運河の鯉のぼり (P05)

4月中旬～5月上旬

5
MAY



4月中旬～5月上旬 (P06)
半田市指定天然記念物
萬三の白モッコウバラ祭

春の山車祭り

3月中旬～5月上旬

ii kamo!
Handa

HANDA
シーズン
カレンダー
Seasonal
Calendar

祭りにグルメにイベントに
一年中見どころいっぱい
の半田のまちを楽しんで!

にぎやかなお囃子で
半田の春のはじまる

いちご狩り
1月～5月下旬



市野園芸

いちのえんげい

大型バスも完備の知多半島最大級の農園。レジャーシートを広げピクニック気分を楽しめる。トッピング持込可、直売所併設。

いちご狩り
1月中旬～5月中旬



澤田農園

さわだのうえん

品種はあきひめ。ベビーカーや車いすも利用しやすい多目的トイレなどの設備が整う。バスP完備。直売の朝どれイチゴも◎。

いちご狩り
1月～5月下旬



BerryGardens

ベリーガーデンズ

半田中央ICすぐのいちご狩り & 直売所。品種はあきひめ、紅ほっぺ、おいこベリーなど。練乳ほかトッピング食材の持込可。

ブルーベリー狩り
4月中旬～7月下旬



ウェルハート農園

うえるはーとのおえん

いろいろな品種のブルーベリー狩りが体験できる。園内散策も楽しめ、直売所のジャムやジェラートも人気。

季節を感じられる
おさんぽコース



東雲の道

しののめのみち

半田運河の上流にある川沿いの散歩道。1～3月ごろまではスイセン、春には桜が咲き散策道中を楽しませてくれる。



雁宿公園

かりやどこうえん

110年以上の歴史をもつ半田市の中心にある公園。展望台からは中心市街地や衣浦港を一望でき、春は桜の名所としてにぎわう。園内は南北に分かれ、ニホンザルなどの動物の飼育も行う。



ニホンザルがいる
お花見の名所



春祭りのスタートを切るのは乙川地区。山車の組み上げほか約1か月前から準備を始める。

春の山車祭り

はるのだしまつり

古いところでは300年以上前から受け継がれてきた、伝統的な半田の山車祭り。10地区の神社にて毎春秋行われ、合計31輛の山車が曳き出される。神社でのからくり人形、三番叟、獅子舞、神子舞の奉納や山車の曳き方などに各地区の特色がある。



10地区の神社の祭礼として
執り行われる春の山車祭り。

半田運動公園

はんだうんどうこうえん

デイキャンプ場

でいきんぷふじょう

半田市の西部丘陵地にある緑に囲まれた大型公園。陸上競技場やテニスコート、多目的グラウンドなどスポーツ施設のほか、BBQエリアやデイキャンプ場も。のんびりくつろげる芝生広場や大小さまざまな遊具があるちびっこ広場で、子どもと一日中遊べる。



広々としたデイキャンプ場にはBBQ設備が40車。すぐそばにちやぶちやぶ池や遊具もあり、小さな子ども連れに便利。

farm restaurant 黒牛の里 グリルガーデンBBQ

ふあーむれすとらんくろうしのさと
ぐりるがーでんばーべきゅー

芝生のオープンガレージで楽しむ知多半島BBQ (前日までの要予約)。精肉工房で追加可。レストランも併設。(P15)

ファーマーズマーケット プリオ半田本店 BBQ場

ふあーまーずまーけっと
はんだほんてん ばーべきゅーじょう

品質の高いオリジナルブランド豚「あいばーく」の食べ放題BBQ。人気のハム・ソーセージはお土産購入も可能。(P15)

石川屋 BBQ Cabin

いしかわや
ばーべきゅーきゃびん

ホルモン食べ放題が付く、肉専門店のBBQ。併設する店舗にて牛豚鶏をお好みで追加購入できる。希少部位があることも!



5月
3・4日
亀崎 かめざき

半田の春祭りを締めくく「亀崎潮干祭」。山車5輛の海浜曳き下ろしやからくり人形の奉納、独特な横さきは見る人を魅了する。



4月
中・下旬
下半田 しもはんだ

醸造業で繁栄した半田運河周辺で行われる祭礼。豪華な山車4輛のほかからくり人形の妙技、巧みな横さきなど見どころが多い。



4月
初・中旬
板山 いたやま

板山神社に3輛、八幡神社に1輛の山車が曳き出される板山地区の祭礼。山車4輛の勢揃い、「三番叟」「神子舞」が奉納される。



4月
初・中旬
西成岩 にしなわ

山車2輛が曳き出される成石神社の祭礼。境内にて前棚人形と上山人形が上演される。大規模な「奉納投げ餅」は多くの人で賑わう。



4月
初・中旬
成岩 ならわ

山車4輛の成岩神社への打ち込みは見ごたえあり。境内での「大獅子小獅子の舞」「神子舞」「三番叟」など多彩な奉納行事も魅力。



4月
初・中旬
協和 きょうわ

急坂の奥に鎮座する白山神社の祭礼で、技量を要する山車2輛の坂上げ、坂下ろしは大迫力。男子が演じる「神子の舞」が特徴。



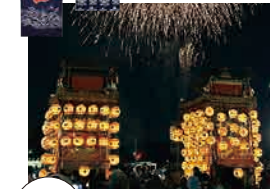
4月
初・中旬
上半田 かみはんだ

山車2輛と2艘の「ちんとう舟」が登場する「ちんとう祭」。子供三番叟の舞、花火、提灯飾りの山車が競演する宵宮は幻想的。



4月
初・中旬
岩滑新田 やなべしんてん

南宮童話の舞台となった自然豊かな岩滑新田の祭礼。2輛の山車と「三番叟」「神子舞」「勇雌子」の奉納など素朴な雰囲気の魅力。



4月
初・中旬
岩滑 やなべ

「三番叟」「神子舞」が新美南宮童話に登場する優美な祭礼。山車の大回転は迫力満点。提灯飾りした2輛の山車と花火の競演も。



3月
中・下旬
乙川 おつかわ

彫刻とかざり金具で埋め尽くされた4輛の山車は市内最大。春祭りの先陣となる祭礼で多くの人で賑わう。勇壮な曳廻しやからくり人形も。



半田の3つの酒蔵

歴史と伝統を守りながら 挑戦を続ける酒蔵の情熱

名醸地として最盛期には200を超えたといわれる知多半島の酒蔵。現在は7蔵となり、そのうち3つの酒蔵が半田市にあります。蔵によって香りや味わいが異なります。地元で長く愛され新しい挑戦を続ける3蔵の個性豊かな地酒をぜひご賞味ください。



蔵の味 くらあじ

半田運河のほとりにある割烹料理店。素材を活かした和食はミシュランガイド愛知・岐阜・三重2019特別版の「ミシュランプレート」に掲載。



うさぎ屋 うさぎや

築120年の、造り酒屋の元本宅でいただく和食会席。知多酒とともに旬の食材を使用した彩り豊かな季節の味覚を楽しめる。



浜潮 はまちょう

「究極の海の幸」にこだわり続ける日本料理店。地酒とよく合う新鮮な魚介類と旬の野菜を使った海辺の四季旬彩を味わえる。



知多牛・ 知多和牛

知多半島で育てられる 上質なブランド牛

酪農・畜産が盛んな知多半島で育てられたブランド牛です。特に、半田市内は牛を育てる畜産農家が多く、知多半島の温暖な気候で大切に育てられています。豊かな味わいをぜひお楽しみください。



CHITA
BEEF

farm restaurant 黒牛の里

ふあーむれすとらん くらうしのさと

知多牛生産農家が営む知多牛専門レストラン。絶対の自信を持つ最高鮮度・最高品質の知多牛と地元の新鮮野菜を最高に美味しい状態で提供。精肉工房、BBQ場も併設。(P13)



やわらかく肉汁があふれる知多牛ハンバーグはボリュームたっぷり。



人気の知多牛
ハンバーグ



半田発酵ガストロノミー

発酵と醸造の歴史文化が醸す 新たな半田の食の旅へ

半田の発酵と醸造の歴史文化に触れ、地元食材とともに半田の「うまみ」を味わう新たな旅のスタイル。特徴的な豆みそ・たまり・粕酢を使用して「うまみ」を際立たせた料理とそれにぴったり合う地酒。半田ならではの組み合わせを存分に味わってください。



古扇楼

こせんろう

創業100年以上の歴史ある老舗料亭。知多和牛の味噌すき焼は、地元で生産した知多和牛と豆みそを使用した上品な味わい。



四季の味 華暁

しきのあじ はなあかり

地元醸造調味料と季節食材を使用した繊細で彩り豊かな和食懐石。自家製たまりタレでいただく知多牛御膳や知多牛のほう葉焼きが絶品。



知多前寿司酒場ノ 仙之助

ちたまえずしさかばの せんのすけ

知多半島産の新鮮なネタを中心に、ミツ判®山吹®を使用したお寿司。ほんのり色づく「赤シャリ」の旨味が堪能できる。



自社ブランドの
豚肉「あいぼーく」

ファーマーズマーケット ブリオ半田本店

ふあーまーずまーけっと

ぶりお はんだほんてん

生産から販売までを自社で手掛ける豚肉専門店。愛知県銘柄豚のオリジナルブランド「あいぼーく」をはじめとする精肉と加工品を購入できる。BBQ場も併設。(P13)

ギフトとしても大人気の「あいぼーく」を使ったポークジャーキー(左)とソーセージ(右)



寿司 吉祥

すし きっしょう

旬の魚介を引き立てる、粕酢を独自ブレンドした奥深い味わいのシャリ。こだわりの寿司を気軽に楽しめるランチメニューもおすすめ。



豊場屋南店

とよばやなんてん

江戸時代の寿司を再現した「尾州早すし」(要予約)のほか、知多半島産の新鮮な魚介を使った仕出しや本格握り寿司をリーズナブルに味わえる。



豊場屋本店

とよばやほんてん

知多半島産のあなごをたっぷり贅沢に使った、にぎり、太巻き、押し寿司が人気。老舗の大将から半田の昔話を聞くのも楽しいひととき。



出典:小泉清三郎著「家庭 鮓のつけ方」より
川端玉章作「鮓の図」

粕酢の故郷、半田

江戸の寿司ブームを巻き起こした 粕酢の奥深い「うまみ」

造り酒屋を営んでいた初代中野又左衛門(ミツカン創業者)は、酒造り過程の副産物である酒粕で「粕酢」造りに成功しました。奥深い「うまみ」は江戸の寿司ブームを巻き起こし、文献に「すしに使うのは尾州半田の山吹に限る」と記されるほど高く評価され半田発展の礎となりました。今も本格江戸前寿司では粕酢の赤シャリが基本とされています。



a 米と米麹のみで造る伝統製法のあまざけ。國盛 酒蔵のあまざけ(中釜酒造(株)) b 豆みそと米みそを秘伝のレシピでブレンド。田楽みそ(中利(株)) c 自社製品である「京好み八丁赤だし」使用のフリーズドライ赤だし味噌汁(中利(株)) d 旨味をたっぷり凝縮した豆みそ100%。ナカリ豆みそ(中利(株)) e 濃厚な味わいの超特選たまり醤油。頑固おやじの一滴((株)ヤマミ醸造) f たまりと濃口醤油のいいとこどり。蔵じまん(キッコウトミ(株)) g 昔ながらの木樽でしか出せない味わい。尾州半田豆みそ仕込み(キッコウトミ(株)) / a~gすべて 半田赤レンガ建物 ほか

半田の発酵・醸造メーカー

三大発酵調味料を網羅する 発酵・醸造メーカーが集うまち

発酵・醸造に適した温暖な気候と良質な水に恵まれた知多半島。酒造りだけでなく、三大発酵調味料「醤油・みそ・酢」の全てが造られ、海運の要所である半田運河に各メーカーがこぞって拠点を構えました。



老舗メーカーで培われた発酵と醸造の技術で、質の高い醸造品が造られる。

ii kamo!
Handa

おすすめの 半田グルメ&お土産

発酵と醸造の歴史文化が「いい味、かもしだす」
半田グルメ&お土産をピックアップ!

ページ掲載情報を
さらに詳しくご紹介!
WEBサイト
「半田市観光ガイド」
▶半田グルメ&お土産



半田発祥の粕酢から
世界の「SUSHI」へ

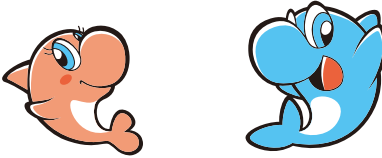
いいかもポイント
ii kamo!
Handa



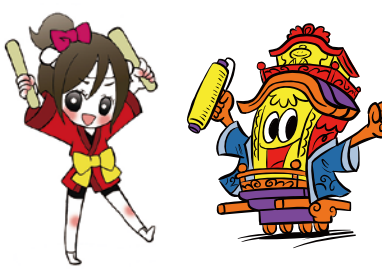
やがて、いのちになるもの。

mizkan
やがて、いのちになるもの。

ちたしん は人・地域・環境に
「やさしいまちづくり」を
応援しています。



知多信用金庫
https://www.chitashin.co.jp



地域のくらしの応援団
半田信用金庫
https://www.hanshin-ca.co.jp

Good Home Good Life
ナゴヤハウジングセンター
半田会場



半田赤レンガ建物となり

半田本店 溶岩焼(焼肉)
半田市岩滑西町4丁目109-1
TEL 0569-23-8672

farm restaurant 黒牛の里
農家レストラン(BBQ場併設)
半田市岩滑西町2丁目48-127
TEL 0569-89-8629

CLACITY店 焼肉ホルモン
半田市広小路町155-3
TEL 0569-21-2911

ホルモン場 トンチャン
半田市岩滑西町2丁目48-127
(BBQ場内)
TEL 080-8054-4583

知多牛 黒牛の里

粉を究めて、新たな価値を。

POWER OF POWDER TECHNOLOGY
TSUKASA

https://www.tsukasa-ltd.co.jp

Q ツカサ工業 検索

酒造りの資料を展示紹介した
酒の博物館

酒の文化館

ご見学は、電話でご予約ください。
☎0569-23-1499

- 入館料無料・毎週木曜日休館
- 知多半田駅下車徒歩10分
- JR東海武豊線半田駅下車徒歩7分

https://www.nakanoshuzou.jp/

ONE SHINTAMA
あなたの暮らし
まるごとお任せ!



DUSKIN 愛知県半田市栄町1-18
健康館 ☎0120-21-8511

GOODMEAT
株式会社 石川屋

会員募集 **かもめツアー**
知多乗合株式会社 ☎(0569)24-3337

知多バス 検索

安全タクシー 知多四国巡礼、観光地巡りも
お車のご利用は **安全タクシー(株)**
☎0569-21-0685(代)

回転寿司 魚太郎
セリ殖を持つ 魚屋の鮮度箱
1F 回転寿司 2F 鮎会席
TEL 0569-89-7800

半田土産が揃うオススメおみやげショップ

CLACITY FOOD MARKET
くらしのふーどまーけっと

名鉄知多半田駅直結のCLACITY1Fにある、
知多半島のおいしいものが集まるフードマ
ーケット。半田土産にぴったりな商品も多数揃っ
ているのでぜひ覗いてみて。

TEL0569-47-8680 広小路町155-3 クラシティ1F

半田赤レンガ建物 (P03) TEL0569-24-7031 樓下町8
_unga(小栗家住宅内) (P06) TEL070-6436-3693 中村町1-40
魚太郎 蔵のまちカフェ (P06) TEL0569-89-7810 中村町1-33-2
蔵の店 かめくち(伊東合資内) (P09) TEL0569-29-1126 亀崎町9-111
cafe&shop ごんの贈り物(新美南吉記念館内) (P10) TEL0569-26-1885 若滑西町1-10-1

★いいかも半田クイズ★のこたえ Q1のこたえ:E 240万個 Q2のこたえ:E 酒粕 Q3のこたえ:E 日本酒
Q4のこたえ:E 海浜 Q5のこたえ:E 矢勝川 Q6のこたえ:E 猿 Q7のこたえ:E 3歳 …そろそろ
お気づきでしょうか? こたえは全て「E(いい)かも! 半田」でした! こんな端っこまでご熟読いただき、ありがとう
ございます。ここまで読んでくださったあなたはもうすっかり半田マニアですね。ぜひ半田に遊びに来てくださいわ。

SHOP LIST

19 ストラップ
くり・きつね
(icura工房)
/cafe&shop ごんの贈り物

18 手ぬぐい
(ツメサキの世界)
/cafe&shop ごんの贈り物

20 手袋を買いに
キーホルダー
/cafe&shop ごんの贈り物

松華堂菓子舗 TEL0569-21-0046 御幸町103
若松軒菓子舗 TEL0569-21-1060 銀座本町2-11
丸初製菓本舗 TEL0569-21-0391 本町7-20
八幡屋菓子舗 TEL0569-21-2288 乙川北側町2-44
御菓子司 常川屋 半田店 TEL0569-25-1005 宮路町151-11
漂香茶館 TEL0569-47-6897 有楽町8-27-1
カレット洋菓子店 半田店 TEL0569-22-7340 広小路町153-8
リヴェールニツ坂 TEL0569-26-6161 北ニツ坂町2-15-13
シャンボール TEL0569-22-8643 若滑中町3-194
MIZKAN MUSEUM TEL0569-24-5111 中村町2-6

半田銘菓と菓子舗

豪商文化で培われた
老舗菓子舗の高い技術

かつて、お茶を嗜む豪商の邸宅近隣には、菓子舗が
軒を連ね職人たちが腕を磨きました。多くの菓子舗
は現在も老舗和菓子店として高い技術を誇ります。
受け継がれる上質なお菓子をぜひお土産に。

01 半田琥珀煉瓦
/松華堂菓子舗

レンガの形の
カラフルな琥珀糖

02 ちんとり最中
/丸初製菓本舗

ちんとり船の
形がかわいい

03 玄米志る粉
/若松軒菓子舗

04 赤レンガ・石かがみ
/御菓子司 常川屋 半田店

05 蔵みちべ
/松華堂菓子舗

06 くるみゆべし
/八幡屋菓子舗

01 レンガを模した7色の琥珀糖は、そのままでもスイーツにトッピングしても
映えるカラフルさが人気。 02 餡は小豆と抹茶の2種。二度焼きの皮の
バリバリ食感ほ老舗のこだわり。 03 一人前包みの和紙のこより結びが
かわいいお汁粉。豊富なアレンジレシピも楽しめる。 04 シャリッと食感
の琥珀に餡を閉じ込めた一口サイズ。大納言と柚子の2種。 05 赤みそ
餡を包んだしっとり上品な味わいの焼饅頭。赤みそのコクと塩味が厳選
された素材の甘みを引き立てる。 06 たまりを使用したゆべしは、丁寧に
手作りされた素朴な味わい。香ばしいくるみがアクセント。

漂香茶館
ひょうこうちゃかん

中国政府公認工場から正規取
扱店認定を受ける薬膳料理と
中国茶の専門店。食べた脂を
流す茯茶をはじめさまざまな
お茶を取り扱う。

**カレット洋菓子店
半田店**
かれつとうやがてん ほんだてん

ブッセが人気で知多半島では
名の知れた洋菓子店。カフェで
はアフタヌーンティーやパティシ
エ陣身のスイーツを満喫できる。

07 五仁月餅
/漂香茶館

08 茯茶(ふーちゃ)
/漂香茶館

09 岩滑サブレ
/シャンボール

10 酒蔵景気
/リヴェールニツ坂

07 オーナーが子どものために作った、木の実がぎっしりの薬膳スイーツ。
08 茶葉を1年以上かけて発酵させる希少な高級中国茶。 09 バターの香り
高いきつねモチーフのサブレ。ココナツ味とココア味の2種入り。 10 中壱
酒造「國盛吟醸酒」をたっぷり含ませた地酒和風ケーキ。枳形のパッケージ
は贈答にも◎。 11 ビスキュイ生地にフレッシュバタークリームをサンドした、
知多半島で40年以上愛されている老舗の銘菓。季節限定のフレーバーも。

11 ブッセ
/カレット洋菓子店 半田店

半田市民の
定番てみやげ

12 酒米アクセサリー
/蔵の店 かめくち(伊東合資内)

13 伊東合資の米塩
/蔵の店 かめくち(伊東合資内)

14 カブトビール
前掛け・ピンバッジ
/半田赤レンガ建物

15 半田の祭り絵柄
マスキングテープ
/半田赤レンガ建物

16 はちみつ(竹内養蜂)
/CLACITY FOOD MARKET

17 酢eat(スイーツ)・
味ぽん®ぬいぐるみ
ストラップ
/MIZKAN MUSEUM

ミツカン
ミュージアムの
人気商品!

ACCESS

電車の場合

名鉄 名鉄名古屋駅から名鉄河和線
河和方面へ急行で約30分
半田口駅(普通のみ)・住吉町駅・知多半田駅

JR JR名古屋駅から東海道本線大府駅で
乗換え、武豊線武豊行で約50分
亀崎駅・半田駅(各駅停車)

※名鉄知多半田駅とJR半田駅間は徒歩約10分

車の場合

名古屋から車で約40分
名古屋高速道路、伊勢湾岸道路を経由し知多半島道路へ、
半田中央ICより約15分
半田赤レンガ建物駐車場・蔵のまち東駐車場

①観光案内

半田赤レンガ建物 榎下町8

_unga 中村町1-40

半田市観光協会 東洋町1-8 アイブラザ半田
お問い合わせ TEL 0569-32-3264 (9:00~17:00)

②駐車場

半田赤レンガ建物駐車場 榎下町8

北駐車場 323台(共用199台)、南駐車場 38台、バス 4台
営業時間のみ利用可

蔵のまち東駐車場 東洋町1-9

247台(バス2台※要予約) 日出~午後10時まで

半田市役所駐車場 東洋町2-1

600台

亀崎海浜緑地駐車場 神前町

東 59台、身障者用2台 7時~20時

西 37台、身障者用2台 7時~20時

新美南吉記念館駐車場 岩滑西町1-10-1

57台、身障者用2台、バス専用3台 営業時間のみ利用可

◎交通

半田市公共交通バス

半田市内には、ごんくるバス、ごん吉くんバス、知多バスなど、計8つの市内バス路線があります。時刻表や路線図など、詳しい情報は半田市HPをご確認ください。



半田市HP
半田市公共交通バス

名鉄知多タクシー

TEL 0569-37-1112

安全タクシー

TEL 0569-21-0685

サンレータクシー

TEL 0569-37-1122

知多バス

TEL 0569-21-5234

③宿泊施設

カンデオホテルズ半田

天王町1-50-8 TEL 0569-25-0331

センターワンホテル半田

更生町1-124-2 TEL 0569-21-6555

名鉄イン知多半田駅前

更生町1-120-2 TEL 0569-23-3434

ビジネスホテル寿屋

雁宿町1-37 TEL 0569-21-1843

アズイン半田インター

宮本町6-216-1 TEL 0569-21-3388

半田ステーションホテル

宮路町511 TEL 0569-23-3222

サンポートホテル半田

瑞穂町9-3-1 TEL 0569-23-7777

サウナ&ホテルみどり館

瑞穂町6-7-12 TEL 0569-23-6699

ホテルルートイン半田亀崎

亀崎町9-141-2 TEL 0569-20-1022

ファーストホテル半田亀崎店

亀崎北浦町2-31 TEL 0569-29-4848

おすすめ半田観光モデルルート

半田赤レンガ建物&半田運河 ウォーキングコース

名鉄住吉町駅

▼300m 徒歩約4分

半田赤レンガ建物(P03)

▼1.2km 徒歩約17分

國盛 酒の文化館(P05)

▼400m 徒歩約1分

旧中笠半六邸・半六庭園(P05)

▼130m 徒歩約2分

小栗家住宅・_unga(P06)

▼150m 徒歩約2分

半田運河(P04)

▼150m 徒歩約2分

MIZKAN MUSEUM(P04)

▼350m 徒歩約5分

JR半田駅

▼750m 徒歩約10分

名鉄知多半田駅



他にも、WEBサイト(P18右下QRコードより)にてテーマや季節ごとのおすすめ観光モデルルートをご紹介します!

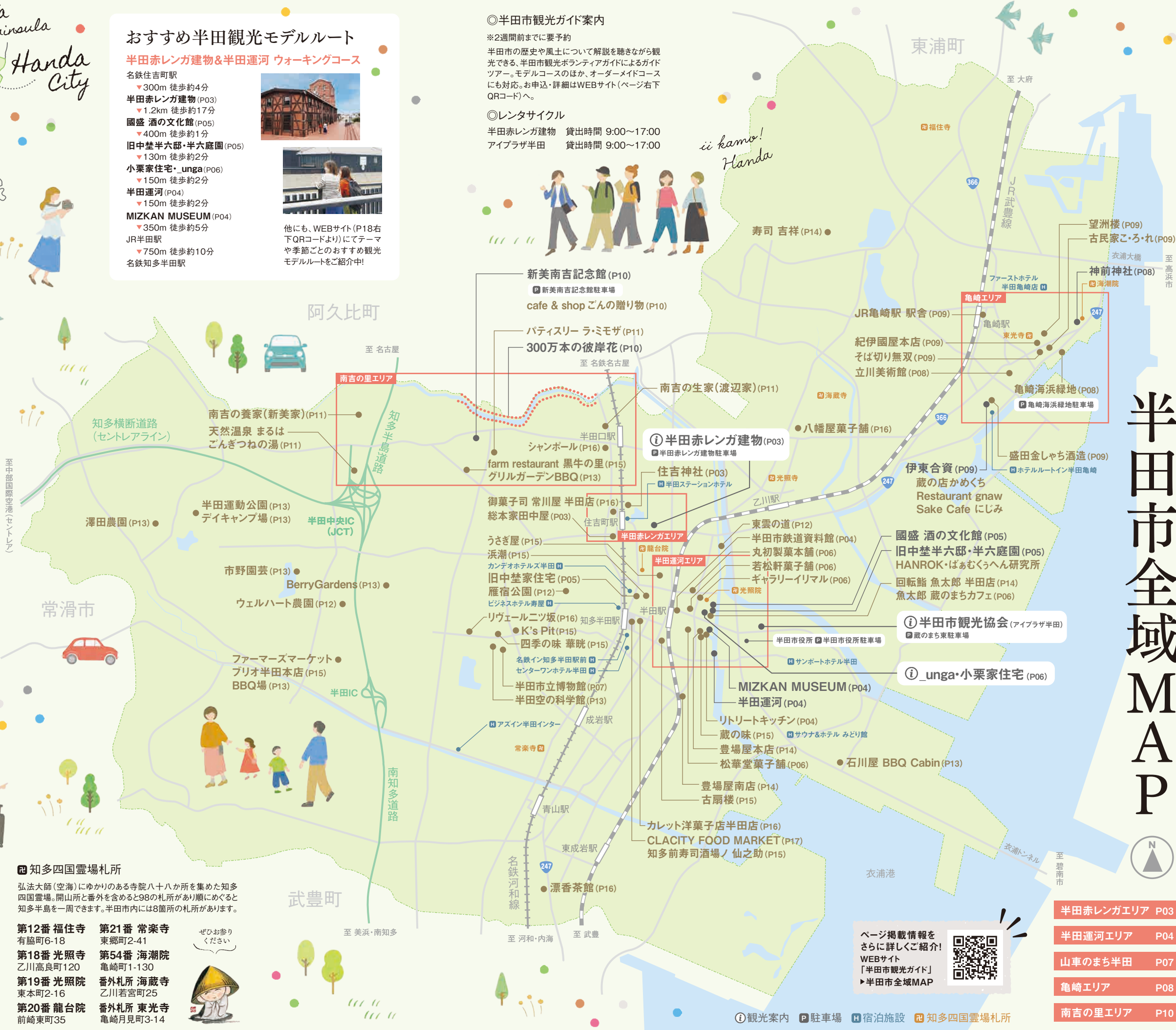
◎半田市観光ガイド案内

※2週間前までに要予約

半田市の歴史や風土について解説を聴きながら観光できる、半田市観光ボランティアガイドによるガイドツアー。モデルコースのほか、オーダーメイドコースにも対応。お申込・詳細はWEBサイト(ページ右下QRコード)へ。

◎レンタサイクル

半田赤レンガ建物 貸出時間 9:00~17:00
アイブラザ半田 貸出時間 9:00~17:00



半田市全域MAP



ページ掲載情報をさらに詳しくご紹介! WEBサイト「半田市観光ガイド」▶半田市全域MAP



①観光案内 ②駐車場 ③宿泊施設 ④知多四国霊場札所

半田赤レンガエリア P03

半田運河エリア P04

山車のまち半田 P07

亀崎エリア P08

南吉の里エリア P10